

第 49 回 通 常 総 会 開 催

当協会第 49 回通常総会が去る 5 月 22 日、来賓の臨席を得て、KKR ホテル東京において開催された。渡辺会長があいさつ(後掲)を行った後、議長に就任して審議が行われた結果、上程された各議案はすべて原案通り承認された。

第 1 号議案『平成 28 年度業務報告、収支決算報告及び監査報告』では、(1)東京港における輸入貨物の取扱数量は 197 万トン(検査・重量ベース)、前年度比 101.4%と増加した。本船貨物では果実の主力であるバナナは減少対前年度比 11.9 減、GF は 32%減、オレンジ 62%の大幅減、パイナップルは微増であった。キウイフルーツは 6%の微増であった。一方、コンテナ貨物は 3,435 本増加して、758 百本弱であった。乾牧草はチモシーヘイが 1,080 本、アルファルファは 900 本ほど増加、全体としては 3,000 本の大幅増加となった。野菜類は対前年比約 1,300 本の増加で約 17,700 本であった。にんじんは 500 本の増加、ブロッコリーも 360 本増加、たまねぎは 200 本の微増であった。カボチャは 110 本、ナガネギは 160 本ほど減少した。果実全体では 840 本ほどの増加となった。オレンジは 360 本、レモンは 270 本、アボカドは 330 本増加し、バナナは南米航路の横浜移転で 670 本の大幅減となった。穀類・豆類ではコメは 400 本ほど増加したが、モルトは 650 本、コムギは 200 本、大豆が 1,300 本と大幅に減少するなど、合計 1,700 本近い大幅な減少となった。(2)輸出用木材こん包材消毒証明件数は 3,140 件と微増し、初めて減少に歯止めがかかった。(3)平成 23 年度から改訂された輸入植物検疫規定が施行されており、本年 5 月施行の第 4 次改訂についても適切に対応する予定。(4)マイマイガ不在証明事業については、検査・証明書の発行実績は無かった。(5)賦課金、立会料の 20%減額請求を続けており、平成 28 年度の「賦課金等」収入は 17,785 万円、前年度比 3%増で、年度収支は約 1,800 万円の赤字見込みに対し、300 万円弱の赤字となった。(6)職員の資質向上と、業務への的確な対応のため、職員を各種研修会、説明会等に積極的に参加させた。(7)広報活動では、「東京植検だより」の発行や植物防疫所、全植検協の機関誌などを配布したほか、新しい検疫情報、現場情報をホームページにより広く関係者に提供した。また、各地からの多岐に亘る数多くの質問、相談などにも適切に対応したほか、必要に応じて関係者との打ち合わせ等を行い、円滑、的確、かつ安全な検疫業務の推進に努めた。(8)関係当局及び諸団体との連絡・協調を図り、また農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体連絡会」に

参加し検疫現場の状況報告、問題点提起とともに、検疫情報の早期入手に努めた。

一など本年度の主要事項と収支状況について報告が行われ、続いて富樫監事から「適正かつ正確であった」旨の監査報告があった後、本案は異議無く承認された。

第 2 号議案『平成 29 年度事業計画(案)及び収支予算(案)』については、(1)新年度の事業計画として、円滑な受検業務や広報活動など従来からの基本事業を引き続き推進すること、賦課金等の 20%減額請求を継続すること、見直される輸入植物検疫制度の随時の改訂に対し、的確に対応すること、各業務を基本に忠実に実行すること、来年度の当協会創立 50 周年の記念事業のため、継続して基金の積み立てと行事の内容検討を行うこと等があげられ、(2)収支予算については賦課金等の減額請求を継続することで、1700 万円の赤字とする新年度予算が提案され、共に異議無く承認された。

その後、川口専務から報告事項として①50周年記念事業について②渡辺会長の退任についての報告があった。

最後に、小野横浜植物防疫所長から植物検疫を巡る最近の状況などを交えたあいさつ(後掲)があり、第 49 回通常総会は滞りなく終了した。(西村 治朗)

渡辺会長あいさつ



本日は、会員の皆様方にはお忙しい中を当総会にご出席頂き有り難うございます。

来賓の横浜植物防疫所小野所長、東京支所堀田支所長及び扇田統括植物防疫官には、ご多用中にもかかわらずご臨席をたまわり、厚くお礼申し上げます。

この 1 年間、円滑に業務を遂行することができましたことは、ひとえに会員各位のご協力と植物防疫所ご当局のご指導の賜物とお礼申し上げます。

本日はすでにご案内の通り、(1)平成 28 年度業務報告、収支決算報告及び監査報告、(2)平成 29 年度事業計画(案)及び収支予算(案)の 2 点についてご審議頂くこととしております。

さて、平成 28 年度の当協会の貨物取扱い状況は、概ね前年度よりは多めで推移しました。特にコンテナ貨物は、年度初めは少なく推移しましたが、その中でヘイの扱ひ量が増加し、さらに、夏以降は野菜が増加傾向で推移し、年間を通してみると当協会の貨物の取扱量、コンテナ本数

は、前年度を上回ることが出来ました。このため賦課金・立会料収入は前年度を上回ることができ、支出の抑制も相まって、昨年の総会で承認頂いた予算の収支額よりも少ない赤字額での決算となりました。あわせて、年度を通して賦課金等の 20%減額請求措置を実施することが出来ました。平成 29 年度事業計画及び予算(案)におきましては、現在の事業を引き続きしっかりと実施するとともに、賦課金立会料徴収の 20%減額の継続、記念行事の準備を進めることなどを提案させて頂いております。よろしくご審議の程お願いいたします。

小野横浜植物防疫所長あいさつ



本日は東京植物検疫協会第 49 回通常総会に参加させていただきありがとうございます。また、総会が滞りなく終了しましたことお祝い申し上げます。ご出席の皆様には、日頃から植物検疫行政の円滑な実施と推進にご理解とご協力を賜り感謝いたします。

本席をお借りして厚くお礼申し上げます。

この機会に最近の植物防疫所の業務状況を説明させていただきます。まず、輸入検査実績ですが平成 28 年 1 月から 12 月まで、全国では平成 27 年度との数量比で、増加したのは、切花、生果実、野菜、肥飼料・その他雑品及び木材で、減少したのは、苗類、種子類、まめ類でした。東京港では、増加したのは、苗類、球根類、こく類、肥飼料・その他雑品で、減少したのは、種子類、切り花、生果実、まめ類などでした。

それから、植物検疫関係では様々な動きがありますので紹介します。まず、第 4 次改正についてですが、本改正のうち、施行されていなかった、輸出国での栽培地検査を要求する検疫措置（規則別表 1 の 2）に係る改正部分については、公布の日から起算して 1 年を経過した日、したがって、平成 29 年 5 月 24 日（検査分）から新たに輸出国で栽培地検査を行い、植物検疫証明書に追記が必要になります。

荷口によっては、生産国以外の第 3 国を経由して輸入される場合がありますが、そのような場合、再輸出証明書に原産国が追記を行った植物検疫証明書またはそのコピー（再輸出国植物検疫機関により証明されたもの）を添付する必要があります。

植物防疫所のホームページでは、4 次改正の内容や栽培地検査が必要な国や地域を容易に確認できるように整備しておりますので、ぜひご利用いただくよう改めてお願いいたします。

また、「条件付き輸入解禁」についてですが、昨年は、9 月にカナダ産とうがらし属植物の生果実、12 月に台湾

産いんどなつめ生果実、本年 1 月にはベトナム産赤肉種ドラゴンフルーツ生果実の輸入が解禁されました。

現在、45 の国・地域から、輸入解禁要請や輸入条件変更要請があります。進捗状況等は農林水産省のホームページにも掲載しておりますので、適宜、ご確認いただければと思います。

一方、輸出力強化についてですが、ご承知のように、「農林水産業の輸出力強化戦略」（平成 28 年 5 月）では、1 兆円の達成目標を「可能な限り早期に達成する」との方針が掲げられております。このような中、輸出可能な品目については、カナダ向けリンゴ生果実について、昨年 10 月に全品種が解禁されるとともに、翌 11 月には携行品での輸出が解禁となりました。また、本年 1 月にはベトナム向けなし生果実が解禁され、3 月にはベトナム向けの初荷の輸出が実現しました。さらに、植物防疫所では、よりきめ細かな対応として、諸外国の検疫条件について輸出産地等に情報提供を行い、輸出相談窓口を設けており、さらに栽培地・集荷地・市場での輸出検査や成田や羽田等の国際空港のチェックインカウンター付近で輸出検疫カウンターを設置するなど、輸出検査の体制強化を図っています。

国内検疫では、ジャガイモシロシストセンチュウの緊急防除を昨年 10 月から行っているほか、平成 22 年から緊急防除を実施しているウメ輪紋ウイルス (PPV) についても、引き続き PPV の根絶に向け対応しています。

農薬の食品健康影響評価に向けた動きについてですが、検疫くん蒸剤の食品健康影響評価に対応するため、各種くん蒸剤のデータ整備を進めております。一例をあげると穀類等から発見されるグラナリアコクゾウムシに対する新たなリン化アルミニウムによる消毒基準の早期の確立に向け、試験等にも取り組んでいます。

組織・定員については、訪日外国人旅行客 4,000 万人という目標に向けて旅客手荷物の輸出入検疫の体制強化として、今年度は新千歳空港出張所、成田支所、羽田空港支所、中部空港支所、関西空港支所及び福岡空港出張所で新規増員が認められ、植物防疫所の定員は 1,024 人となりました。また、業務量などを踏まえて組織見直しを行い、本年度静岡空港及び小松空港に出張所を設置することが認められました。

以上、簡単に動向を説明させていただきましたが、植物防疫所におきましては、今年度も引き続き、迅速かつ適切に植物検疫業務を行って参る所存ですので、どうぞ宜しくお願いいたします。

結びに、東京植物検疫協会、並びにご出席の皆様方の益々のご発展をお祈りするとともに、植物検疫への一層のご理解とご協力をお願いして挨拶いたします。

👁️ タイム eye 🗨️

業務グループ スペイン産苗木輸入

4月1日より18日にかけて、複数の本船でスペイン産の様々な種類の苗木が輸入されたので紹介する。

今回輸入された苗木はコルクガシ、ユッカ属、コショウボク、ゲッケイジュ、アズマツメクサ属、サボテン属、ザクロ、ゴーリカなどバラエティに富んでおり、1コンテナに複数種類が混載されているため、コンテナヤードでの検査が難しくコンテナヤードで一度開扉し、扉周りの検査を実施したのち、消毒設備を備えた倉庫での検査となった。また、一部コンテナにおいては大型苗木のため、オープントップコンテナでの輸入となり、デバンニングを行う際にクレーン車による作業が必要になるなど、輸入検査に至るまでに大がかりな作業を要した。



輸入実施にあたり、植物防疫所と輸入計画段階から、植物防疫法上の規制と植物検疫証明書に必要な栽培地検査や検疫措置に関する追記事項の確認、検査場所の確保や検査手順や注意点などの打ち合わせを関係者間で行い検査実施に備えた。

スペインからのコルクガシ、ゲッケイジュの2種はサドンオークデス病菌 (*Pramorum*) を対象とした輸出国での栽培地検査、ゴーリカはテンサイヨコバイを対象とした輸出国での検疫措置の追記が植物検疫証明書に必要

となっている。また、ザクロについては、生果実がチチュウカイミバエの寄主植物のため、果実が付いている場合、輸入禁止品の対象となることや、根回りの土壌が完全に除去されているかなど細心の注意が必要となる。

輸入された苗木の一部を紹介すると、コルクガシはスペインを中心とする地中海沿岸地域が原産地のブナ科なら属の常緑高木でその樹皮はコルクとしてワインボトルの栓、断熱材、床材など様々な用途に使用されている。

コショウボクは、約15メートルに成長するウルシ科サンショウモドキ属の常緑樹で、実は匂いや香りが胡椒に似ているため「ピンクペッパー」の名で香辛料として販売され、観賞用としても世界中に広く育てられている。

今回の輸入時点では栽培地検査に関して施行開始前で規制の対象外であったが、第4次植物防疫法施行規則改正の施行にともない、スペイン産コルクガシ、コショウボク、ゴーリカの苗木3種については、5月24日以降の輸入検査の場合、*Eutypa lata* (糸状菌の一種) の栽培地検査に関する追記も検疫証明書に必要となる。



今回のように、多品種を一度にスムーズに輸入しようとする場合、その国や植物によってそれぞれの規制や検疫証明書への追記などが異なるため、輸入計画段階から植物防疫所へ相談や打ち合わせ、情報収集が非常に重要である。

(田地 龍之)

会員の異動 (平成29年4月1日～平成29年5月31日)

☆入会会員

4月1日	ニッカプランニング(株)	[商社]	〒492-8145	愛知県稲沢市正明寺1-3-11	☎ 0587 (24) 7774
4月1日	綿半トレーディング(株)	[商社]	〒160-0004	新宿区四谷1-4	☎ 03 (3353) 2304
4月21日	(株)トロピカルストリーム	[商社]	〒260-0026	千葉市中央区千葉港8-2-312	☎ 043 (245) 1637
5月1日	JWM Asia Japan(株)	[商社]	〒160-0022	新宿区新宿2-5-10	☎ 03 (3358) 7641
5月22日	合同会社 Good day	[商社]	〒264-0004	千葉市若葉区千城台西2-2-3-102	☎ 043 (376) 9946

☆退会会員

4月12日 青葉貿易(株)、板橋貿易(株) 4月30日 (株)ケーブスパンジャパン 5月19日 トフコ(株)

☆交代役員

4月1日	理事 荒井 幸治	丸紅株式会社	(前任者：高野克己)
4月1日	理事 奈良場 三郎	三菱倉庫株式会社	(前任者：西川浩司)
5月1日	理事 細川 大介	日本通運株式会社	(前任者：慶谷嘉章)

東京港輸入植物品目別統計表

(平成29年1月～4月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	18	178,503	1,262	0	0	178,503	1,262
栽植用球根類	個	48	7,816,049	2,120	0	0	7,816,049	2,120
アマリリス	"	8	78,684	0	0	0	78,684	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	38	7,527,000	0	0	0	7,527,000	0
栽植用種子	kg	139	1,290,584	125,681	0	0	1,290,584	125,681
草花・樹木	"	1	5,514	0	0	0	5,514	0
野菜	"	61	232,658	1,000	0	0	232,658	1,000
普通・特用作物	"	25	361,905	122,640	0	0	361,905	122,640
牧草・芝草	"	42	590,949	0	0	0	590,949	0
切花、切葉、切枝	個	590	94,463,425	8,590,509	0	0	94,463,425	8,590,509
アンスリウム	"	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	"	84	4,525,799	713,824	0	0	4,525,799	713,824
キク	"	300	25,636,745	1,919,154	0	0	25,636,745	1,919,154
シダ(レザーフアン)	"	57	12,746,280	10,100	0	0	12,746,280	10,100
果実	kg	4,753	85,321,254	6,148,454	76,244,497	61,985,467	161,565,751	68,133,921
オレンジ	"	791	13,871,015	2,172	0	0	13,871,015	2,172
グレープフルーツ	"	711	13,317,964	960,947	0	0	13,317,964	960,947
タンジェロ(ミネオラ)	"	337	6,413,761	0	0	0	6,413,761	0
レモン	"	444	8,398,642	70,254	0	0	8,398,642	70,254
パイナップル	"	213	4,122,500	665,665	7,714,549	6,632,851	11,837,049	7,298,516
バナナ	"	506	9,254,457	2,782,968	64,951,768	55,352,616	74,206,225	58,135,584
マンゴウ	"	25	276,186	0	420	0	276,606	0
キーウイフルーツ	"	89	1,460,729	13,063	3,566,661	0	5,027,390	13,063
ブドウ	"	319	5,482,942	0	0	0	5,482,942	0
野菜	kg	6,335	122,927,633	1,498,981	68	0	122,927,701	1,498,981
カボチャ	"	395	9,207,073	870,370	0	0	9,207,073	870,370
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	11	71,408	3,200	0	0	71,408	3,200
パプリカ	"	43	269,937	4,500	0	0	269,937	4,500
メロン(ハミウリ含む)	"	21	362,568	0	0	0	362,568	0
キャベツ	"	531	10,484,732	124,540	0	0	10,484,732	124,540
セロリ	"	82	1,157,793	110,583	0	0	1,157,793	110,583
ナガネギ	"	683	9,504,819	110,185	0	0	9,504,819	110,185
ニンニクの芽	"	19	535,354	0	0	0	535,354	0
ハクサイ	"	30	551,295	18,000	0	0	551,295	18,000
ブロッコリー	"	287	2,562,631	24,617	0	0	2,562,631	24,617
レタス	"	284	3,204,275	45,360	0	0	3,204,275	45,360
タマネギ	"	1,791	44,775,516	65,100	0	0	44,775,516	65,100
ニンニク	"	202	3,171,081	22,429	0	0	3,171,081	22,429
アスパラガス	"	38	442,261	24,466	0	0	442,261	24,466
ゴボウ	"	118	3,181,202	11,900	0	0	3,181,202	11,900
サトイモ	"	22	396,800	0	0	0	396,800	0
ショウガ	"	219	4,826,781	0	0	0	4,826,781	0
ニンジン	"	512	13,723,927	0	0	0	13,723,927	0
こく類	kg	2,846	58,134,668	0	73,708,315	0	131,842,983	0
オオムギ	"	1	927	0	0	0	927	0
エンバク	"	105	2,208,670	0	0	0	2,208,670	0
コムギ	"	101	1,968,855	0	73,708,315	0	75,677,170	0
コメ	"	533	10,103,592	0	0	0	10,103,592	0
ソバ	"	3	57,357	0	0	0	57,357	0
トウモロコシ	"	63	1,089,692	0	0	0	1,089,692	0
モルト	"	1,999	42,039,960	0	0	0	42,039,960	0
まめ類	kg	2,522	50,528,444	0	0	0	50,528,444	0
エンドウ	"	16	358,488	0	0	0	358,488	0
ダイズ	"	2,357	47,429,744	0	0	0	47,429,744	0
ラッカセイ	"	68	1,312,489	0	0	0	1,312,489	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	1,400	20,888,980	0	0	0	20,888,980	0
カカオ	"	11	172,789	0	0	0	172,789	0
コーヒー	"	31	347,823	0	0	0	347,823	0
タバコ	"	342	6,217,470	0	0	0	6,217,470	0
アーモンド	"	313	5,057,660	0	0	0	5,057,660	0
クリ	"	8	64,059	0	0	0	64,059	0
クルミ	"	273	3,933,396	0	0	0	3,933,396	0
ポップコーン	"	101	2,032,397	0	0	0	2,032,397	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	9,318	209,341,066	46,184	10,541	0	209,351,607	46,184
乾燥牧草(ヘイ)	"	7,108	164,911,257	37,384	0	0	164,911,257	37,384
アニマルフィード	"	8	81,514	0	0	0	81,514	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	"	370	9,516,855	0	0	0	9,516,855	0
コーンコブミール	"	3	75,600	0	0	0	75,600	0
飼料大豆カス、ペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
ビートパルプペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
イネワラ	"	10	120,605	0	0	0	120,605	0
ココピート	"	168	3,024,793	0	0	0	3,024,793	0
ココヤシ園芸資材	"	125	2,554,229	0	0	0	2,554,229	0
ビートモス	"	369	7,973,645	0	0	0	7,973,645	0
ミズゴケ	"	25	60,390	0	0	0	60,390	0
タケ	"	42	653,224	0	0	0	653,224	0
木材	m³	40	688	427	0	0	688	427
** 総合計 **	kg	27,313	548,432,629	7,819,300	149,963,421	61,985,467	698,396,050	69,804,767
	個	656	102,457,977	8,593,891	0	0	102,457,977	8,593,891
	m³	40	688	427	0	0	688	427

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含めない。